

- 関西に住んでいるので影響は小さい。
- 魚を食べる量が減った。食費が増えた。
- 食費がかなり減った。
- 食品に対して関心（良い意味で）が持てた。
- 自分だけでなく、家族一人一人が栄養素を意識するようになった。
- 食費が増えた気がしますし、我慢することもある。
（じゃこ、たらこ）
- 無駄買いをしなくなった。
- 買い物が大変になった。魚を食べる頻度が減った。
- 何軒か店を回った。食費が増えた。
- 野菜に関する食費が増えた。
- 買い物に行く回数を少なくした。
- 健康を考えるようになりました。
- 毎日足りない物を買いつけていたが、まとめ買いするようになった。
- 単純になってよかった。
- 非常食を家に置くようになった。防災品にも気を付けるようになった。
- お店により、販売していない物があり、あちこちのスーパーを回らなければならない。
- 産地を限定しているため買い物が大変。食費も取り寄せなどで負担増加。
- 食べられる物が減った。
- 震災後、子供が生まれたのでコープさんなど宅配による買い物が中心となった。（食生活による変化ではないのですが。）ストックする場所の確保が必要になった。（家が狭くなった。）
- こだわることに買い物の店と時間の増加。
- 私達老夫婦は気にしない。近くに3才の子育てをしている息子夫婦がいて、市で汚染のことを学んできて、九州の方から野菜を買ったり関西から取り寄せたり、ととても気を使っている。
- 玄米をプラスしたことより、副食を一品減らす。一汁二菜を目指している。
- 買い物が計画的になった。
- 食費が減った。（主食のお米を買わなかったので）
- 欲しい物が買えなくなった。
- 買い物では表示をよく見て買うようになった。
- 意識する程度で、実際は東北のものも買ったり食べたりしています。
- 食費が増えた。本当に安心な食べ物か不安です。
- 普段から工夫があるので特に気にならない。
- よく考えてから買い物をする様になった。
- 保存食（缶詰等）を普段の食事にも取り入れるようになった。
- コープ商品を多く利用している。
- こちらに売ってないものは、実家の九州から送ってもらった。
- 賞味期限、消費期限をしっかりと守っている。放射能に比率、気にかけている。
- 特に感じないが、産地名をよく見るようになった。
- 生産者を見るようになった。
- 食費が増えた。子供の飲料、食料は別で用意するので家事の負担が増えた。
- コープで買うことが増えた。
- 購入出来る店舗や野菜に限りがあり大変。
- 家族の賞味期限チェックが厳しくなった。
- 今までは何も考えずに買っていたが産地をよく見る。
- 生協でほとんど頼んでいるが、産地をよく見て東京近県のは買わない。値段が高くなっても仕方ないと思う。
- 5年間保存できる食品を買うようにしました。
- 地産地消を心掛ける。
- 水（ミネラルウォーター）を購入する手間が省けた。重い買い物をしなくてよかった
- 野菜等生協でほとんど買っている。食費は増えた。
- 産地にこだわって、気に入った物がない場合は買わないようになりました。
- 簡単に食事をするようになった。
- ペットボトルが重かった。

- 子供達が少し食べなくなった。
- 汚染のリスクが高い物は避けるようになった。
- 備蓄したものを先に食べ、その後補充しているが、計画的に買うようになった。(必ずしも大売出しの日には行っていない)
- 生産地チェックに手間をとられた。
- 飲料水代は増えた。産地を選んだり業者に頼ったりするので食費が増えることが多い。
- 買い物する店を変えた。
- 食品を選ぶため食費の増加。(月5万位)
- 産地をチェックして買入していたため食費は増えたと思う。
- いろいろ勉強して、結局、和食中心に色々な食材をバランスよく摂るのが良いと分かったので、特に大きく変わってはいない。食生活を見直す良い機会になった。
- 食品に対する意識が変わった。
- こまめに買い物に行き、大量購入しないようになった。
- 少しの時期にやっていたことなので、食費に負担などは特になかった。
- 遠い所でも買い物に行く。
- 食費は気にしなくなった。安さより、安全第一という基準に変わりました。
- かえて日本産の食材を買う様になりました。
- 食べる物がマンネリ化してしまった。
- 短期間だったので特になし。
- 気を付けると食費が増える。(野菜、果物、肉、魚)
- 魚に変わるメニューを考案しなくてはならない。
- 食費は少し上がったが、一つ一つの食材を大切に使い切るようになった。作り手のことを考えるようになった。
- 遠くまで買い物をしていたのに、近くに変えました。
- 今までミネラルウォーターを買って料理をしていなかった。震災直後はミネラルウォーターでのごはん作り大変だ逢った。コープで配達してもらえて大変助かった。
- 水を1箱買う場合は重いので大変だと思いますが、健康の為と思っています。
- スーパーその他の買物、食品を見るために気がめいるようになった。
- なるべく国産の物を選ぶようになったので食費が増えた。
- 食費が増えた。メニューの幅が狭くなった。
- 野菜等は神経質にはなってはいませんが、いつも気にしている。
- 買物をする時、風評に惑わされ、毎回買おうかやめようか悩むことが増えた。
- 牛乳は北海道産、お米は佐渡、北海道毎日食べる物は、放射性物質を気にしています。
- 主人が積極的に買い物に出るようになった。
- 買いたい物が買えなかったり、食費が増えた。
- ミネラルウォーター代が増えた。産地を見て欲しい食材を買えなかったり、ということがある。
- 買い物に行く回数が、格段に増えた。
- ミネラルウォーターの空ペットボトルが増えた。
- 「米ぬか」がわりに「シリアル」などにしていますが、シリアルはかえて添加物が多くて、どちらが良いか迷っている。
- 買物は大変。食費が増えた。心理的ストレスがすごいです。
- ネット注文を多く利用。
- ミネラルウォーターがなかなか手に入らず困った。水を買う習慣がなかったので、お金が余計にかかった。買い物の時間がかかり、いつも買い物の心配で追われる毎日だった。
- テレビ、本、世の中のことも、よく自分なりの考えをしっかりと持つこと、食品の苦情が多い。
- 野菜も魚介も、獲れたところを意識して選んでいる自分を見えています。
- 常備できるものを見ていくとき、きりが無くなり

お金がかかる。

- 食費は増えた。(南相馬の祖母の畑の物が食べられなくなったため)
- 神経を使うことに疲れる。食費が増える。魚介類は今も心配が残る。
- ストック出来る物を少しずつ買って、古い物から使用する。期間などのチェックを時々する。
- 野菜を探すのが大変になった。食費も増えた。買い物に時間がかかるようになった。
- コープデリで取っているので問題なし。
- 選ぶのに労力がある。神経を使う。ヘトヘトです。
- 買い物が大変になった。気軽に飲食ができなくなった。(家の中、外でも)
- これでいいのか、こんなことをしてもいいのか、風評被害の一員になっているのではと考えます。
- なるべく体に良く、新鮮な物を買入。食費が増えた。
- 食費は増えたが、無知だったことが分かり色々知るようになった。
- 飲料水、野菜など多少気を付けて選んでいる。
- 生産地が気になり、表示をよく見るようになった。
- 野菜を気を付けて買っている。
- 複数の店を回って買うことが多くなったため、移動が大変で疲れることがよくある。
- 妹(愛知)がずっと送ってくれている。生協が近県と合併した為、私の体にとってはとても不便。遠くの安全食品もカタログ等に載せてくれることを願っています。特別な人がいる事にも目を向けてほしい。
- 気にはなっているが、あまり変わらない。以前から水やカップラーメンなど買い置きがある。
- 食品について気にはなっていますが、生活している中で難しいと思っています。
- 東京では、野菜のほとんどが北関東産なので、しばらくは野菜が買えなくて困った。
- 保存食も、無駄にならないように、期限が近づい

たら食べるようにしています。

- 買い物は少なくなり生協での食費が増えました。
- 買い置き商品(賞味期限の長いもの)が多くなった。(震災後のスーパー等の欠品が多かったため)
- 買い物が多くなった。食費が増えた。
- 食費が増えた。食材を選ぶのが大変になった。
- 食費が増えた。西のものを扱っているというところが少ないので、買うのが大変。
- やはり高くても安心安全な物と思うと食費は増えた。一時的な品不足で買い物も苦労した。
- 従来に比較し、特に野菜を多く摂るように努めています。
- 値段より質にこだわる。
- 魚が食卓に並ぶ回数が減った。親戚から米を頂けなくなったので、米代がかかるようになってしまった。
- 米の値上がりなど、価格に変化。
- 食生活というより買い置きの食品量を増やした。
- 関西方面とか、いろいろな産地のものを買うようになった。
- ミネラルウォーターのペットボトルを買うのが大変。
- 何カ所か探して、買い物をするようになった。
- コープ会へ入会。
- 産地の表示がはっきりしない物は極力買わないため、買い物に時間が掛かる。
- ウォーターサーバーレンタル料や会員費で食費が増えた。
- 計算していないので分からないが、恐らく食費は少し増えたと思う。産地にこだわるため多少高くても西日本産のものを購入する。
- 買い物はらでいっしょぼうやで野菜、米を買っています。食費は増えました。
- 同種類の食品の選択肢が少なくなり、また放射能の測定値の信頼性がなくなり情報の信ぴょう性が大きく損なわれた。

- 極端なことはしていないので大きく変わっていない。
- イオンアルカリ性にするための機械に20万円の費用をかけた。
- バランスとれた食品に気をかけるようになった。
- 特にはありませんが、自分でも風評被害にあたるのではないかと心をも痛めながらも子どものことを考えるとつい買い控えています。
- もともと地産地消の食生活でしたのでそれ程変化しない。
- 有機栽培の野菜を買うことが多いが、本当に「有機栽培」かと思う。安心して食べられるものはほとんどないのだろうと思っている。食費は1.5倍になった。
- 他の産地を採用するようになった。
- ものすごく買い物が大変になった。食費が増えた。
- 買い物は大変。贈答品に気をを使う。
- 安い時にまとめて買うので少々買い物が大変になった。(重たいため)
- 一時期、水代が増えた。
- 乾物を使用したレシピが増えた。
- ちばコープで食品を買うようになった。家で作るので外食費が減った。
- きゅうりやしいたけ等、東北地方で作っている品物には困った。
- 生協が役立ったので特になし。
- 食生活との関係か分かりませんが、今まで病気知らずだった息子達の体調不良が1年半くらい続いた。(1年間で、それまで15年間以上の回数、病院へ行った。
- 食の豊かさが減った。ふき、きのこ、しいたけ、地元の野菜を買うのを迷う。家庭菜園を控えた。
- 震災後は、親が気にして近隣の米を買い求めて送ってくれたり、放射線量の検査済みと分かる果物を送ってくれたり、なんだか申し訳ない状況になって精神的に苦痛だった。おすそ分けは、あまりできなくなった。
- しばらくは食べたい物が食べられなかった。1年位は被災者に思いを寄せるという意味もあり質素な生活になりました。
- 魚を食べる量が減って食費のダイエットになった。いろいろな汚染は今まで勉強してきましたが、魚を食べて「美味しい」と舌鼓を打っていたところが懐かしい。
- 食卓に並ぶ野菜の種類が減った。
- 今までより手作りが少し減った。(レトルト、インスタント物の買置きを入れ替える為に食べるようになったから)
- 買物をする時に産地を気にするようになったことで、その場で一番安い物を買えなくなった。
- 地場産の食品に不安があった。生協の検査に安心感を持って、共同購入の利用が増えた。
- 食費が増えた。安全性について知らべたりするうちに、放射性物質だけでなく添加物や農薬が気になるようになった。
- より安心、安全なものと思うと、やはり少し高価になってしまいます。
- 食費が増えた。食事の量は少し減った気がする。
- 特になし。色々なスーパーでバランスよく買っています。
- 産地にこだわると、近所の小さなスーパーでは買いたい物が買えない時がある。
- 私は市場に出回っているものは、きちんと検査しているから大丈夫と思っていますが、主人が「まだ安心できないから人には人を」ということです。買い物が大変より、夫が大変です。
- 生協の商品が多いので、特別に大きく影響は受けていない。
- スーパーと違ってお店の人とコミュニケーションがあり、色々な野菜を使ってのレシピとかを教えてもらえて楽しい。

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
鍋師裕美、堤智昭、蜂須賀暁子、松田りえ子	乾しいたけの水戻しおよび牛肉の加熱調理による放射性セシウム量の変化	食品衛生学雑誌	54	65-70	2013
堤智昭、鍋師裕美、五十嵐敦子、蜂須賀暁子、松田りえ子	マーケットバスケット方式による放射性セシウムおよび放射性カリウムの預託実効線量推定	食品衛生学雑誌	54	7-13	2013
T.Watanabe, R.Matsuda	Effect of the distribution of analyte concentration in lot, sample size, and number of analytical runs on food-testing results.	<i>J. Agric. Food Chem.</i>	60(42)	10702-8	2012
蜂須賀暁子	食品中の放射能測定法	雑誌放射線	38(3)	129-136	2012
蜂須賀暁子	平成23年度厚生労働科学研究（食品の安心・安全確保推進研究）食品中の放射性物質に関する研究	食品衛生研究	62(12)	15-21	2012
畝山智香子	食品安全リスク分析の視点から農薬を含む食品中化学物質のリスクを考える	日本農薬学会誌	38(1).	21-23	2013
畝山智香子	食の安全とは	校給食	64(4)	27-35	2013

